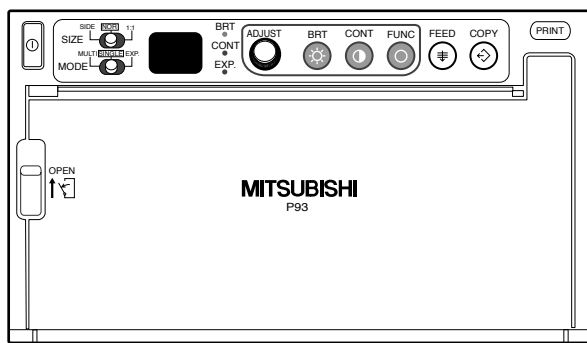
MITSUBISHI

ビデオコピープロセッサー

取扱説明書

P93

このたびは三菱ビデオコピープロセッサーをお買上げいただきありがとうございました
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みください

お読みになった後は保証書と共にたいせつに保管してください
万一ご使用中にわからないことや不都合が生じたときさっとお役にたちます

1

1 もくじ

1 もくじ……… 2
2 安全のために必ずお守りください ………3 ～ 7
3 各部の名称とはたらき
前面……… 8
後面……… 9
4 記録紙の入れかた………10 ～ 11
5 接続例 / スイッチの設定………12 ～ 13
6 プリントのしかた………14
リモコンを使うとき………15
7 プリント画像の調節
ブライトネス / コントラストの調節………16 ～ 17
8 ファンクションモードの設定………18
ファンクションモードについて………18
ファンクションモードの設定………19 ～ 23
SIZE(サイズ) スイッチの設定………24
MODE(モード) スイッチの設定 ………25
SIZE/MODE の組み合わせによるプリント例 ………26
調節 / 設定モードからの自動復帰………27
ユーザー設定………27
設定のリセット………27
9 エラー表示について………28 ～ 30
10 DIP スイッチの機能 ………31
11 状態 / モード一覧表………32
12 クリーニングペーパーの使いかた………33
13 お手入れ ………34
14 仕様………35
15 アフターサービス ………36

本機を使用中に万一発生した故障等の不具合によりプリントされなかった内容の補償についてはご容赦願います。

2 安全のために必ずお守りください

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■ 図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください	絶対に分解・修理はしないでください	絶対に触れないでください
絶対に水にぬらさないでください	絶対にぬれた手で触れないでください	必ずアース線を取り付けてください
必ず指示に従い、行ってください	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください	

お買い上げの機種には、該当しない説明も含まれています。

警告

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く !!

異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

プラグを抜く

煙が出ている、変なにおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く !!

異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。
すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、販売店に修理をご依頼ください。

使用禁止

キャビネット（天板）をはずしたり、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。また、改造すると、ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

分解禁止

不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

禁止

内部に異物を入れない

特にお子様にご注意を

用紙排出口や通風孔から金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。

禁止

⚠警告

電源コードを傷つけない

●重いものをのせない　●引っ張らない　●ねじらない
●無理に曲げない　●加熱しない　●加工しない

コードに傷がつくと、火災や感電、故障の原因となります。
電源コードの芯線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに販売店に修理をご依頼ください。

禁止

水でぬらさない

火災や感電の原因となります。
雨天時の窓辺での使用は、特にご注意ください。

水ぬれ禁止

落としたり、キャビネット (天板) を破損した場合は使わない

火災や感電の原因となります。

使用禁止

花びんやコップ、植木鉢、小さな金属物などを上に置かない

内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

水ぬれ禁止

正しい電源電圧 (交流 100V) で使う

交流 100V 以外の電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

交流 100V

付属の電源コードを使用する

これ以外の電源コードを使うと、外部からの耐ノイズ入力性能が低下したり、火災の原因となります。

付属の電源コード

確実に接地する

電源コードについている 3 ピン電源プラグを、それに合う接地付きコンセント (3 ピン用) に直接差し込んでください。この方法で接地接続を容易に行うことができます。

確実に接地する

⚠注意

設置時は、次のような場所には置かない

●湿気やほこりの多い場所
●風通しの悪い狭い場所
●油煙や湯気が当たる場所
●直射日光の当たる場所や熱器具の近くなど、高温になるところ
●硫化水素、酸化イオウなどが発生する場所
●振動がある場所

このような場所に置くと、ショートや発熱、電源コードの被膜が溶けるなどにより、火災や感電、故障、変形の原因となることがあります。

設置禁止

通風孔をふさがない

●風通しの悪い狭い場所に置かない
●テーブルクロスなどをかけない

通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

禁止

接続したまま本機を移動させない

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源コードや接続機器とのケーブルをはずしたことを確認してから移動させてください。

禁止

⚠注 意

電源プラグを持って抜く

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

本機の上に重いものを置いたり、本機の上にのらない

特にお子様にご注意を

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

プリント用紙排出口に手を入れない

特に小さなお子様にご注意を

プリント用紙排出口内部には用紙を切るためのカッターがついていますので、手を切るなどのけがの原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

本機内部のサーマルヘッドには触れない

高温になっている場合があるため、触れるとやけどやけがの原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておく

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグのほこりなどは定期的に取り、差し込みの具合を点検する

ほこりなどがついたり、コンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。
１年に１回はプラグとコンセントの定期的な清掃をし、最後までしっかり差し込まれているか点検してください。

ほこりを取る

日本国内専用です

この製品は日本国内用ですので、電源電圧の異なる海外では使用できません。
またアフターサービスもできません。
This VIDEO COPY PROCESSOR is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

紙づまりの処置の際は、取扱説明書で指定している場所以外には触れない

内部には高温の部分があり、触れるとやけどの原因となることがあります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う

安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

５年に一度は内部の掃除を依頼する

販売店にご依頼ください。
内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うのが効果的です。
内部掃除費用については、販売店にご相談ください。

お願い

2

露付きが起こった場合は
(本機の内部に水滴がつくことを露付きといいます)

● 露付き状態で本機を使用すると、プリント用紙の表面に湿気や露が付き、印画品質の低下や紙づまりの原因となります。露付きが起こりそうなときは、電源を入れて 2 時間以上おいてからご使用ください。プリント用紙が装着されているときは、取り出してから電源を入れてください。
● 露付きは次のようなときに起こります。
・部屋を急激に暖房したとき
・エアコンなどの冷風を直接当てたとき
・本機を寒いところから暖かいところに移動させたとき
● 露付きしたプリント用紙は正常にプリントできない場合がありますので、新しい用紙と取り替えてください。

置き場所、取扱い

● 水平においてください。傾いた状態や不安定な場所で使用すると、本機に悪い影響を与えます。
● 殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
● 周囲温度は 5℃～ 40℃、湿度は 20% ～ 80% でお使いください。本機をシステムラックに組み込んだときは、ラック内の温度、湿度も上記の範囲でお使いください。
● 本機の上に重いものを載せないでください。キャビネットを傷めたり、故障の原因となります。
● プリンティングユニットを引き出したときは、ユニットを押さえつけないでください。故障やプリント不良の原因となります。

お手入れ

● 前面パネル部分の汚れは柔らかい布でふいてください。
● 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよくしぼって汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。
● 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。
● ベンジン、シンナーなどの溶剤は、使わないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

接続機器、接続ケーブル

● 本機に接続して使用する機器の取扱説明書に記載されている「使用上のご注意」をよくごらんください。
● 接続ケーブルは指定のものをご使用ください。

プリント中は

● 本機を動かしたり、前面ドアを開けたりしないでください。プリント不良の原因となります。
● プリント用紙を引っ張らないでください。プリント不良やエラーの原因となります。

プリント用紙

● プリント終了後、ペーパーが紙出口に出てきたら、そのままにしておかず 1 枚ずつ取り出してください。そのままにしておくと紙づまりの原因となります。
● プリント用紙に付着したゴミやホコリ、あるいは低・高温時における変形等のためプリント画の中に微妙な色抜けや色ムラ、スジ、シワが発生することがあります。

電源を切るときは

● プリント終了後に切ってください。プリント中に電源を切ると、プリントが中断し、紙づまりの原因となります。

サーマルヘッドの摩耗と交換

● サーマルヘッドは摩耗します。サーマルヘッドが摩耗すると鮮明な画像がプリントできなくなることがあります。このような場合はサーマルヘッドの交換が必要です。
サーマルヘッドの交換は販売店にご相談ください。

VTR の画像をプリントする場合は

● 静止画、特殊再生などのノイズの多い画像、画面が上下にゆれている映像をプリントしないでください。プリントが歪んだり、上部が曲がったりすることがあります。
● プリント中に VTR の特殊再生をしないでください。きれいなプリントができないことがあります。

引っ越しや輸送のときは	著作権
● プリント用紙を取り出してから梱包してください。	● ご自身が制作、撮影した映像以外からのプリントは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

お知らせ

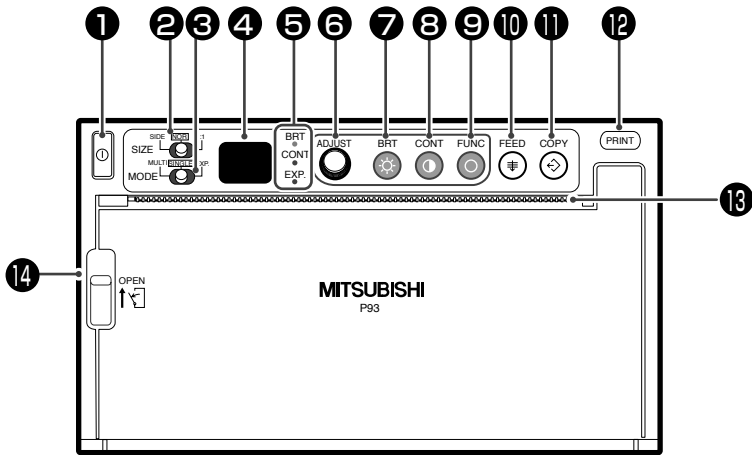
■感熱紙について

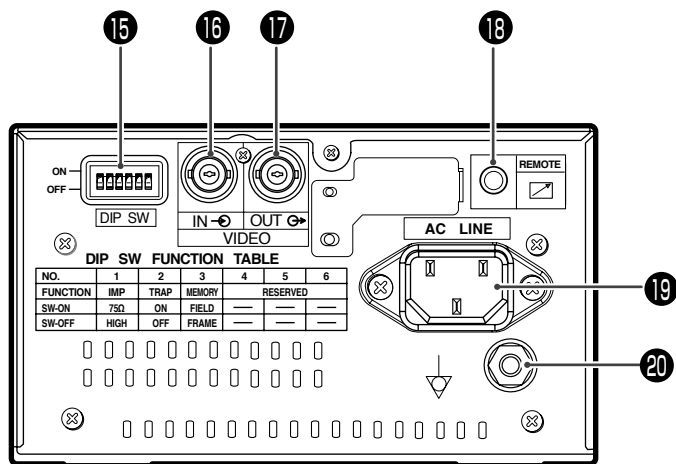
○付属のK91HG-CE1巻で約180画面プリントすることができます。
○感熱記録紙の残りが約25cmになると感熱記録紙の端に色の帯が出ますので感熱記録紙の交換の準備をしてください。感熱記録紙の残りが少なくなると巻芯の凹凸の影響で均一にプリントされない場合があります。
○プリントされた紙を湿った手で持つと変色することがあります。
○プリント中に紙が完全になくなった場合はプリント動作が停止し前面のインジケーターが"EP"を表示しますので新しく感熱記録紙をセットしてください。
○画面をプリントした後の紙はなるべく直射日光など強い光の当たらない湿度の低い所で保管してください。専用記録ファイル等での保管をおすすめします。ただし保存状態により画面が退色する（白っぽくなる）ことがあります。
○紙が不揮発性有機溶剤（アルコール、エステル、ケトン類など）を吸収すると印画面が退色します。特にセロハンテープ、軟質塩ビなどで密着させますと退色が早くなりますのでご注意ください。
○感熱記録紙は指定以外のものは使用しないでください。
感熱記録紙交換直後のプリント画２～３枚は、手のゴミや脂などにより記録されない部分が出ることがあります。
○紙は直射日光、暖房器等のそばをさけ、温度30℃以下湿度20～80% RHの冷暗所で保存してください。
○低温の場所から高温の場所へ急に移動した場合、紙の表面に湿気または露が付き、印画品質の低下や紙詰まりの原因になることがあります。
○紙の表面に指紋、ゴミ等が付いた場合印画品質が低下することがあります。

付属の電源コードについて

付属の電源コードは、本製品専用です。決して他の製品には使用しないでください。

3 各部の名称とはたらき

前面

	名　　称	機　　能	参照ページ
❶	POWER(電源) ボタン	電源の ON/OFF	14・33
❷	SIZE(サイズ) スイッチ	プリント画像のサイズの選択	24
❸	MODE(モード) スイッチ	SIZE スイッチの拡張機能	25
❹	インジケーター	スタンバイ表示 / ファンクション表示 / エラーメッセージ表示	15・17・19～23・25～30・32
❺	インジケーター (BRT/CONT/EXP.)	設定中の機能を表示	16・25
❻	ADJUST(アジャスト) つまみ	各機能の設定値を変更	17・19
❼	BRT(ブライトネス) ボタン	プリント画像の明るさを設定	16
❽	CONT(コントラスト) ボタン	プリント画像のコントラストを設定	16
❾	FUNC(ファンクション) ボタン	ファンクションモードの選択	18
❿	FEED(フィード) ボタン	紙送り	14
⓫	COPY(コピー) ボタン	直前にプリントした画像をコピープリント	14
⓬	PRINT(プリント) ボタン	画像のプリント	14
⓭	プリント出口/カッター	プリントアウト/用紙切断	14
⓮	レバー	ドア開	10

後面

	名　称	機　能	参照ページ
⑮	DIP(ディップ) スイッチ	特殊機能選択	12・13・31
⑯	VIDEO IN コネクター (BNC タイプ)	ビデオ信号入力	12・13
⑰	VIDEO OUT コネクター (BNC タイプ)	ビデオ信号出力（モニター出力）	12・13
⑱	リモコン端子	リモートコントロール接続端子	15
⑲	電源端子 (AC LINE)	電源コード接続	12・13
⑳	等電位化端子	等電位化母線と接続する端子	12・13

4 記録紙の入れかた

■記録紙の表面に湿気、指紋、ゴミ等がついた場合、印画品質の低下及び印画時に騒音が生じることがあります。記録紙を入れるとき、紙面に指紋やゴミがつきますので、以下の手順で入れてください。

■記録紙を入れるときは、紙づまりをふせぐため、次の事項をお守りください。

■不良紙は使わないでください

■折れたり、ぬれたり、シワになったり等の汚損した紙は使わないでください。

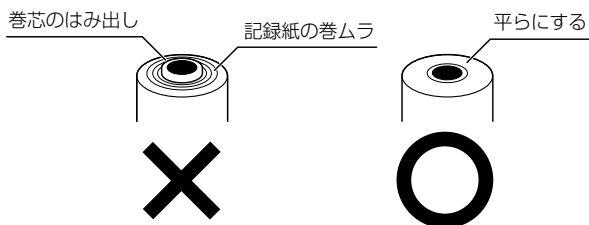
■紙の平行度を調整してください

■プリント出口から送り出された記録紙が傾いているときは、紙がまっすぐになるように調整してください。

■紙をたるませないでください

■紙にたるみができないように、きちんと巻いてから入れてください。

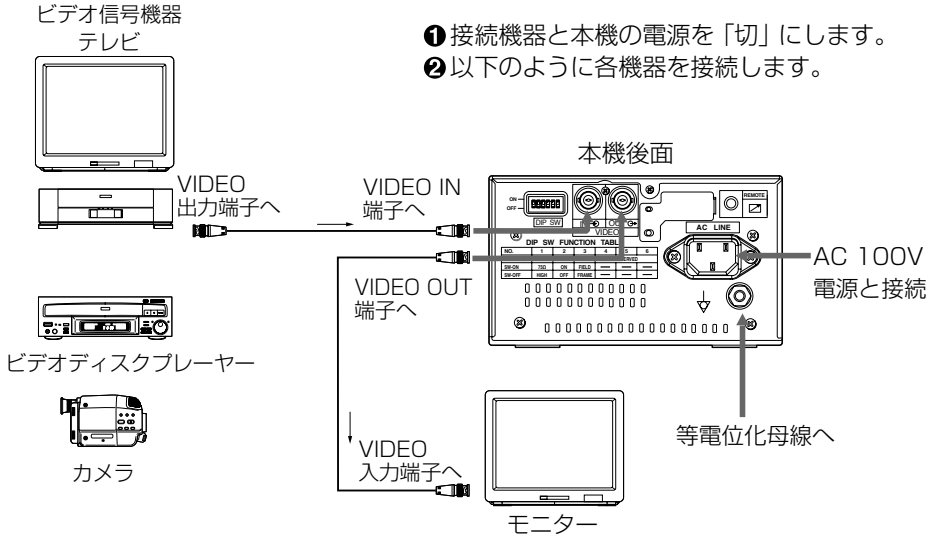
ご注意

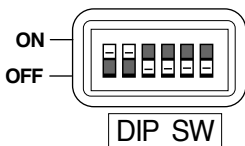
●記録紙を使用、保管するときは指紋、ゴミ、湿気等がつかないようにしてください。
●ゴムローラーにふれたり、表面にキズや汚れをつけないようにしてください。
●サーマルヘッド（カッターの奥側にあります）は高温になりますので、手をふれないようにしてください。
●カッターには刃がついていますので手をふれないようにしてください。
●記録紙の端面（側面）が凸凹であったり、巻芯がはみ出していたりするとプリント後の紙送り量がばらつくことがあります。記録紙端面（側面）の凸凹、巻芯のはみ出しがある場合は、記録紙端面（側面）が平らになるよう補正してから、記録紙を入れてください。

5 接続例 / スイッチの設定

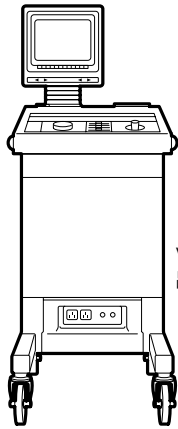
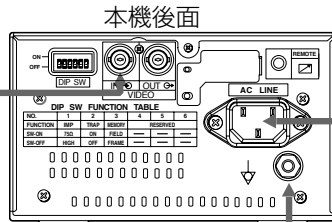
■各種コンポジットビデオ信号機器や医用機器と接続できます。

⚠注意 この製品は医療機器ではありませんので、出力画像は診断には使用できません。

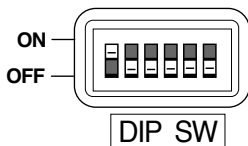
コンポジットビデオ信号機器との接続

❶ 接続機器と本機の電源を「切」にします。
❷ 以下のように各機器を接続します。

スイッチの設定

●後面の DIP スイッチの設定例を以下のように示します。
● DIP スイッチの設定については 31 ページをごらんください。

SW-No.	設定
1	75Ω
2	ON
3	FRAME
4	OFF
5	OFF
6	OFF

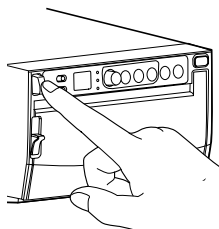
医用機器との接続

❶ 接続機器と本機の電源を「切」にします。
❷ 以下のように各機器を接続します。

⚠注意　等電位化端子を使用する場合は、設置場所の等電位化母線と接続してください。医用機器とは接続しないでください。

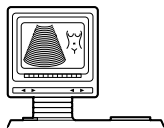
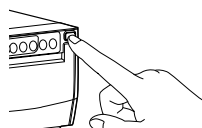
スイッチの設定

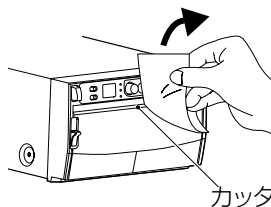
後面の DIP スイッチの設定例を以下のように示します。

SW-No.	設定
1	75Ω
2	OFF
3	FRAME
4	OFF
5	OFF
6	OFF

●超音波診断装置と接続するときは、ファンクションモードでγカーブを2 - 5に設定してください。5が推奨値です。γカーブ設定については 19 ページをごらんください。
● DIP スイッチの設定については 31 ページをごらんください。

6 プリントのしかた

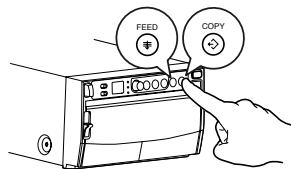
1 電源を入れる。

■**POWER ボタン**を押して、電源を入れます。

2 画像をプリントする。

■モニター画面にプリントする画像を映し、**PRINT ボタン**を押します。

●プリントが終わるとブザー音（ピー）が鳴ります。

3 プリント紙を切る。

■プリントアウトされた紙を右上にひねるようにしてカッターで切ります。

■プリント用紙を横方向に引いて切ると、本機内の用紙が傾いて、次のプリントが正しくできない場合があります。

コピープリントについて

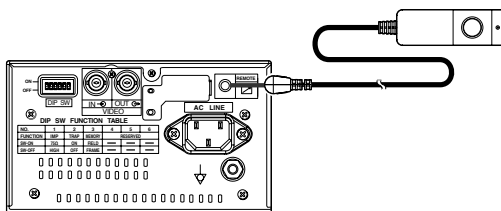
■前面の **COPY ボタン**を押すと、プリントボタンを押してプリントしたものと同じ画像をコピープリントできます。
COPY ボタンを押した回数の枚数だけコピーできます。
ファンクションモードを使ってコピープリントすることもできます。設定については 23 ページ「PRINT ボタンの機能設定」、「プリント枚数の設定」をごらんください。

コピープリントの中止

■コピープリント中に **FEED ボタン**を押すと、コピープリント完了後、残数のコピープリントを中止します。

紙送り

■前面の **FEED ボタン**を押し続けると、紙送りができます。

リモコンを使うとき

■後面のリモコン端子にワイヤードリモコンを接続します。
■リモコンのボタンを押すと **PRINT ボタン**と同様にプリントできます。
■無信号の場合はボタン操作は無効になります。

プリントについてのご注意

■黒っぽい画面を何枚も続けてプリントすると、オーバーヒートすることがあります。（インジケーターが点滅します。）
この場合、オーバーヒートがおさまるまで、しばらくお待ちください。
■プリントまたは、コピー中に記録紙を引っ張ったり、押したりすると、紙づまりの原因になります。
プリント、コピーがおわるまで記録紙に触れないようにしてください。
■信号が入力されていない状態でプリントすると、印画面の下部に「NO SIGNAL」が印字されます。

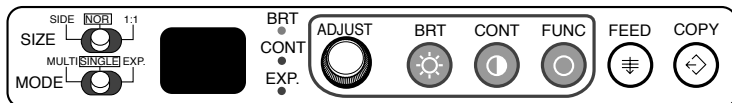
記録紙節約モード

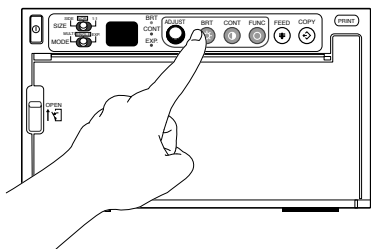
FUNC ボタンで記録紙節約 (**SAVING:** ō) を“1”にすると紙送りの幅が通常よりも短くなります。記録紙を切断する前に、適切な位置で画像が切断できる様に **FEED ボタン**を押して紙送りしてください。

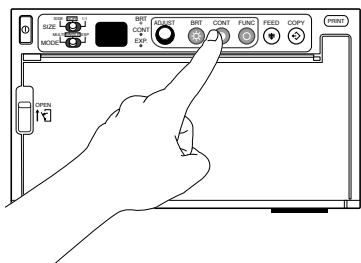
7 プリント画像の調節

ブライトネス・コントラストの調節

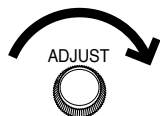
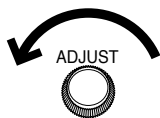
■モニター画面を見ながら、プリント画のブライトネス・コントラストの調節ができます。

コントロールパネル

●画像の調節にはブライトネス“BRT”、コントラスト“CONT”ボタン、アジャスト“ADJUST”つまみを使います。

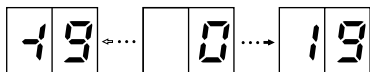
❶ 調節したいボタンを押す。

■ブライトネスを調節するときは、BRT **ボタン**“BRT”を押します。

● BRT のインジケーターが点灯します。

■コントラストを調節するときは、CONT **ボタン**“CONT”を押します。

● CONT のインジケーターが点灯します。

2 設定値を変える

●設定値を上げるときは、**アジャストつまみ**を右に回します。

●設定値を下げるときは、**アジャストつまみ**を左に回します。

●設定値はインジケーターに表示されます。

例

●設定範囲は－ 19 ～＋ 19 です。

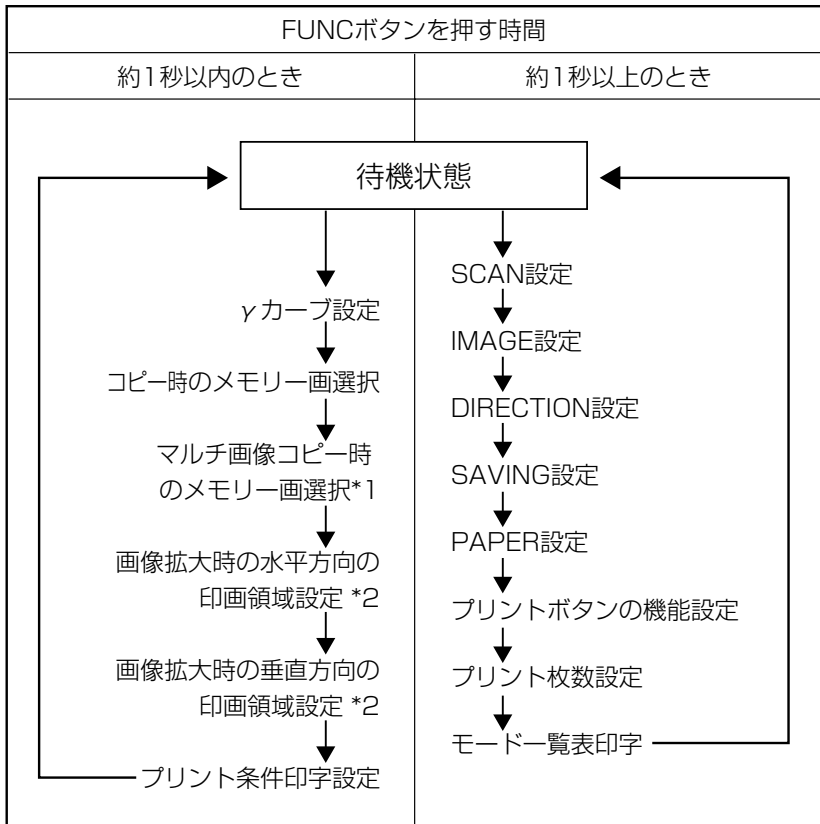
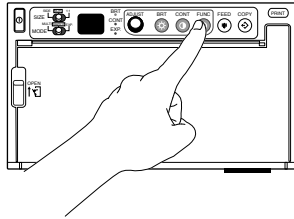
●設定した数値は **PRINT ボタン**を押すとメモリーされます。

●メモリーされた設定値は、電源を切っても消えません。

7

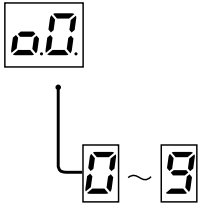
8 ファンクションモードの設定

ファンクションモードについて

■このモードでは、機能の初期設定値を変更することができます。**FUNC(ファンクション)ボタン**を押すたびに、次のようにモードが切り替わります。

*1 MODEスイッチをMULTIに設定したときのみ表示されます。
*2 拡大プリントに設定されている時のみ表示されます。

ファンクションモードの設定

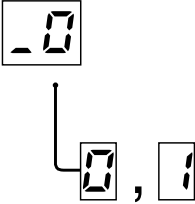
■ **ADJUST(アジャスト)つまみを回すと**、ファンクションモードの設定を変更することができます。設定値は電源を切っても消えません。

γカーブ設定

インジケーター	調　整　内　容
r5 1～5	■接続機器に応じた最適な濃度を得るために、γカーブ（濃度一階調特性）を選択するモードです。5 種類のうちプリント画に合ったものを選びます。 ■初期設定はγカーブ“5”です。

コピー時 / マルチ画像 (1 画面目) コピー時のメモリー画選択

インジケーター	調　整　内　容
C.0 0～9	■過去にプリントした画像 10 画面の中から、プリントしたいものを指定することができます。 ■インジケーターの数値が大きいほど古い画像となります。(選択範囲：0 ～ 9) ■選択された画像はモニターに表示されます。ここで選択された画像は、SINGLE のコピープリントを行うときまたは 2 画面マルチのコピープリントを行うとき、右側の画像として指定されます。 ■選択された設定値は、新しい画像をメモリーするまで有効です。 ■記憶された画像は電源を切ると消去されます。

マルチ画像 (2 画面目) コピー時のメモリー画選択

インジケーター	調　整　内　容
o.0. 0 ～ 9	■2 画面マルチのコピープリントで、過去にプリントした画像 10 画面の中から、プリントしたいものを指定することができます。 ■インジケーターの数値が大きいほど古い画像となります。(選択範囲 : 0 ～ 9) ■このモードでは、選択された画像は 2 画面マルチのコピープリントを行うとき、左側にプリントされます。 ■選択された画像はモニターに表示されます。 ■選択された設定値は、新しい画像をメモリーするまで有効です。 ■記憶された画像は電源を切ると消去されます。

画像拡大時の水平方向の印画領域設定

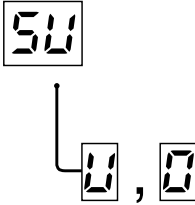
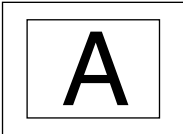
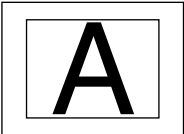
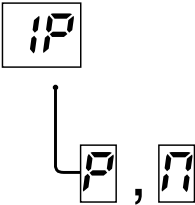
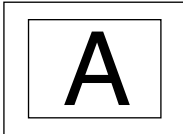
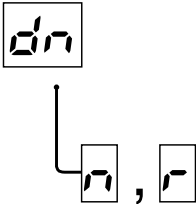
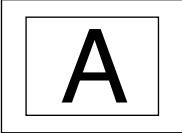
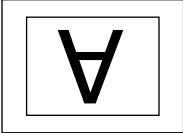
インジケーター	調　整　内　容
H_	■NOR. サイズで拡大プリントする場合に、プリント範囲を指定することができます。 ■プリント範囲はモニターに表示され、モニターで確認しながら調節することができます。アジャストつまみを回すとプリント範囲を変更することができます。 ■プリント範囲の設定は水平方向のみで、垂直方向は画像全てを拡大プリントします。

画像拡大時の垂直方向の印画領域設定

インジケーター	調　整　内　容
U_	■SIDE サイズで拡大プリントする場合に、プリント範囲を指定することができます。 ■プリント範囲はモニターに表示され、モニターで確認しながら調節することができます。アジャストつまみを回すとプリント範囲を変更することができます。 ■プリント範囲の設定は垂直方向のみで、水平方向は画像全てを拡大プリントします。

プリント条件印字設定

インジケーター	調　整　内　容
_0 └ 0 , 1	■BRT、CONT、GAMMA の設定値をプリント画像の下部に印字することができます。 0：設定値を印字しない 1：設定値を印字する

SCAN 設定

インジケーター	調　整　内　容
SU └ U , O	■プリント画像のアンダースキャン / オーバースキャンを選択します。 U：アンダースキャン O：オーバースキャン U（アンダースキャン）　O（オーバースキャン）

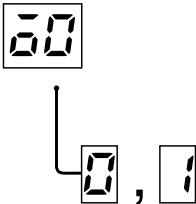
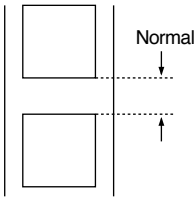
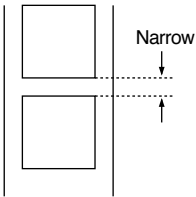
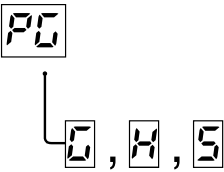
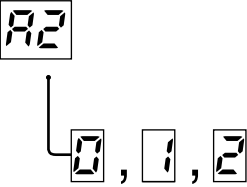
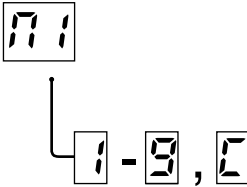



IMAGE 設定

インジケーター	調　整　内　容
IP └ P , N	■プリント画像のポジ / ネガを選択します。 P：ポジ N：ネガ ■ポジのときは画面表示通りのプリントができます。ネガのときは白黒反転プリントができます。 P（ポジ）　N（ネガ）

8

DIRECTION 設定

インジケーター	調　整　内　容
dn └ n , r	■プリント画像の出力方向を選択できます。 n ：モニター表示と同じ方向でプリントアウト r ：モニター表示と逆の方向 (180 度回転した方向) でプリントアウト

SAVING 設定

インジケーター	調　整　内　容
o0 └ 0 , 1	■プリント完了後の紙送り幅を選択できます。 0 : 通常の紙送り幅 1 : 狭い紙送り幅

PAPER 設定

インジケーター	調　整　内　容
PG └ G , H , S	■使用する記録紙に合わせて、次のように設定します。 G : 強光沢紙　(K91HG-CE) H : 高濃度紙　(K65HM-CE) S : 多階調紙　(K61S-CE)

8

PRINT ボタンの機能設定

インジケーター	調　整　内　容
A2 → 0, 1, 2	■PRINT ボタンに付加機能を持たせることができます。 0：通常の機能 1：複数回押すと複数枚コピープリントする 2：プリント中も次の画面のメモリーが可能

プリント枚数の設定

インジケーター	調　整　内　容
n1 → 1 - 9, C	■ 1 回の PRINT ボタン操作でプリントする枚数を設定することができます。 ■設定数値は 1 ～ 9 までと、”C”（Continuous：連続）の設定ができます。 ■連続プリントは、FEED ボタンを押すことによりプリントを停止することができます。

モード一覧表の印字

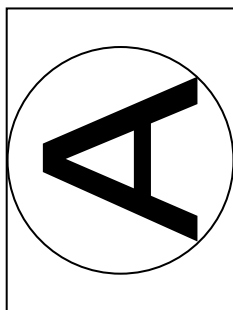
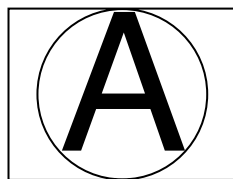
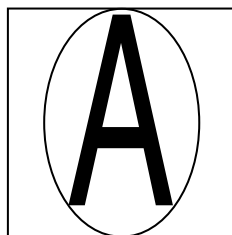
インジケーター	調　整　内　容
HP	■ファンクションボタンの各機能に対応したインジケーター表示の一覧表をプリントすることができます。 ■インジケーターの表示が”HP”になっている時に COPY ボタンを押すと、モード一覧表がプリントされます。

8

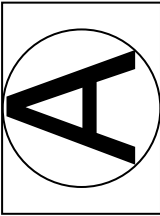
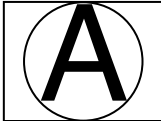
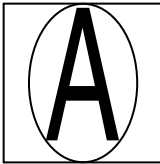
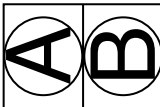
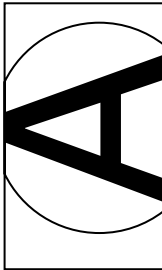
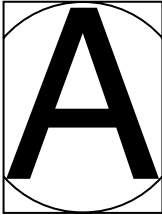
SIZE(サイズ) スイッチの設定

■ **SIZE(サイズ) スイッチ**で、プリント画像のサイズを選択することができます。

プリント例

8

MODE(モード)スイッチの設定

■ **MODE(モード)スイッチ**は、SIZE スイッチの拡張機能としてはたらきます。

通常は SINGLE に設定してください。SIZE スイッチで設定した画像サイズでプリントすることができます。

MULTI に設定すると、2 画面のマルチ画像をプリントすることができます。
- ・ マルチ画像をプリントするために、PRINT ボタンを 2 回押してください。
- ・ 1 回押すと 1 画面目の画像がメモリーされ、“01”と表示されます。
- ・ 続けてもう 1 回押すと 2 画面目の画像がメモリーされて、自動的に両方の画像をプリントします。
- ・ SIZE スイッチで 1:1 を選択しているときは、マルチ画像のプリントはできません。

EXP. に設定すると、SIZE スイッチの設定の NOR. サイズと SIDE サイズの画像を拡大または縮小してプリントすることができます。
- ・スイッチを EXP. に設定すると、EXP. のインジケーターが点灯すると共に、拡大率が表示されます。
- ・スイッチは EXP. の位置に固定することができません。スイッチから手を離すと自動的に SINGLE の位置に戻ります。
- ・拡大率は 0.5 倍から 2.0 倍まで、0.1 倍ステップで設定可能です。
- ・設定変更には ADJUST つまみを使用します。
- ・設定した拡大率は、電源を切っても消えません。
- ・SIZE スイッチで 1:1 を選択しているときは、拡大 / 縮小のプリントはできません。

SIZE/MODEの組み合わせによるプリント例

SIZE / MODE	SIDE	NOR	1:1
SINGLE	A	A	A
MULTI	A B	A B	プリント不可
EXP.	A	A	プリント不可

8

調節 / 設定モードからの自動復帰

■以下の状態で SIZE スイッチ以外のボタン、つまみ、スイッチを約 20 秒間操作せず放置すると、本機は自動的に待機状態（インジケーター表示: 00）に戻ります。
このとき、変更された設定値は記憶されず、変更前の値に戻ります。
・　ブライトネス / コントラスト調節中
・　ファンクションモード設定中
・　拡大 / 縮小モード設定中

ユーザー設定

■本機には、接続する画像機器の動作条件や画質条件に合わせて調整した結果を「ユーザー設定」として記憶する機能があります。誤って調整値を変えてしまった場合には、簡単な操作で本来の設定に戻すことができます。
■ユーザー設定の記憶（登録）方法
本機を設置したサービスマンに実施していただく内容です。お買い求めの販売店に、お問い合わせください。
■ユーザー設定への復帰方法
1 電源を切ります。
2 **COPY ボタン**を押しながら電源を入れます。
3 インジケーター表示が“US”から“00”に変わり、登録内容がユーザー設定にリセットされます。

設定のリセット

■ブライトネス、コントラスト及びファンクションの設定をリセットすることができます。この操作を行っても、ユーザー設定値は消えません。
1 電源を切る。
2 **FUNC ボタン**を押しながら電源を入れる。
3 インジケーター表示が“FC”から“00”に変わり、設定がリセットされます。

8

9 エラー表示について

**本機になんらかの異常が生じたときは警告音を出したり
インジケーターにエラー表示を出します。**

原因 / エラー表示	症状 / 処置のしかた
❶オーバーヒート	【症　　状】 ●本体内部のヘッド温度が高くなりすぎたときに、インジケーターが点滅します。この場合、次のボタン操作のみ有効になります。連続プリント中にオーバーヒートが発生すると、オーバーヒートが解消され次第プリントを再開します。 **COPY ボタン** ・COPY ボタンを押すたびに、インジケーターは C2→C3→C4 とカウントアップします。 ・オーバーヒート解除後、コピープリントを自動的に開始します。 **PRINT ボタン** FUNCTION で PRINT ボタンの機能が「複数押し複数枚コピー」に設定されているとき ・PRINT ボタンを押すたびに、インジケーターは C2→C3→C4 とカウントアップします。 ・オーバーヒート解除後、コピープリントを自動的に開始します。 FUNCTION で PRINT ボタンの機能が「プリント中メモリー」に設定されているとき ・PRINT ボタンを押すと、そのとき信号入力されている画像を 1 枚メモリーします。メモリーがいっぱいになるまでこの操作は有効です。 ・オーバーヒート解除後、メモリーされている画像のプリントを自動的に開始します。 **FEED ボタン** ・複数のコピー枚数が設定されているときは、残数が 1 枚になります。
	【オーバーヒートの処理】 温度が下がるまで、しばらくお待ちください。

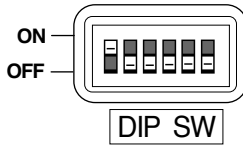
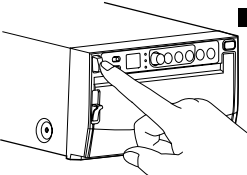
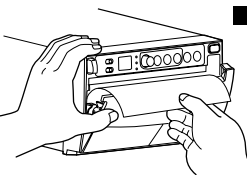
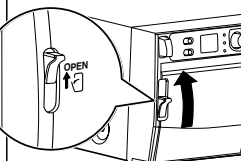
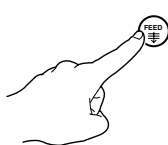
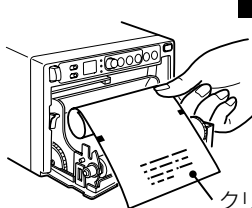
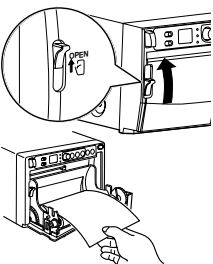
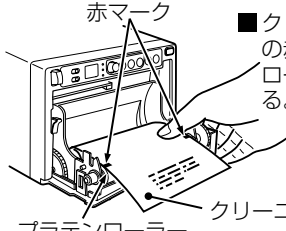
原因 / エラー表示	症状 / 処置のしかた
❷紙なし EP	【症　　状】 ●プリント中に記録紙がなくなったり、記録紙が装着されていないと、プリントできなくなり、警告音（ピッピー）が一度鳴ります。この場合、すべてのボタンおよびスイッチ操作は無効になります。 ●複数枚コピー中、または未処理の画像が残っているときにこのエラーが発生した場合は、その時点でプリントは中止されます。
	【紙なしの処理】 10・11 ページの **“4 記録紙の入れかた”** にしたがって、新しい記録紙を入れてください。 複数枚コピー中、または未処理の画像が残っているときに記録紙が正しく入れられると、まずブザー（ピピピ）が一度鳴ります。その後自動的に約 15cm 紙送りされ、プリントが再開されます。 エラー解除後は、プリントを中止した画像から自動的にプリントを再開し、残りの画像を全てプリントします。

原因 / エラー表示	症　　　状
❸ボタン入力エラー Eb	●次のようなボタン操作をしたとき、警告音（ピッピー）が一度鳴り、そのボタン操作は無効になります。 ・プリント中メモリー機能が有効で、メモリーがいっぱいのときに PRINT ボタンを押したとき ・入力信号が無い場合に、リモコンの PRINT ボタンを押したとき インジケーターは“Eb”が約 1 秒間表示され、その後はボタンエラー発生前の状態に戻ります。

9

原因 / エラー表示	症状 / 処置のしかた
❹ドアエラー 	【症　　状】 ●ドアが開けられると警告音（ピッピー）が一度鳴ります。 インジケーターに“ Eo ”が表示され、すべてのボタンおよびスイッチ操作は無効になります。 ●複数枚コピー中、または未処理の画像が残っているときにこのエラーが発生した場合は、その時点でプリントは中止されます。
	【ドアエラーの処理】 ドアを閉めてください。 複数枚コピー中、または未処理の画像が残っているときにドアを閉めると、ブザー（ピピピ）が一度鳴り、プリントが再開されます。 エラー解除後は、プリントを中止した画像から自動的にプリントを再開し、残りの画像を全てプリントします。

原因 / エラー表示	症状 / 処置のしかた
❺ギアロック エラー 	【症　　状】 ●プリントまたは紙送りを開始する際、ヘッドが自動的に下がらなかった場合、警告音（ピッピー）が一度鳴ります。 ●プリントまたは紙送り終了後、ヘッドが自動的に上がらなかった場合、警告音（ピッピー）が一度鳴ります。 インジケーターに“ EL ”が表示され、すべてのボタン操作は無効になります。 ●複数枚コピー中、または未処理の画像が残っているときにこのエラーが発生した場合は、その時点でプリントは中止されます。
	【ギアロックエラーの処理】 一度電源を切り、再度電源を入れてください。 プリントが中止された画像およびメモリー中の未処理の画像は全てキャンセルされます。

10 DIP スイッチの機能

DIP SW FUNCTION TABLE

NO.	1	2	3	4	5	6
FUNCTION	IMP	TRAP	MEMORY	RESERVED		
SW-ON	75Ω	ON	FIELD	——	——	——
SW-OFF	HIGH	OFF	FRAME	——	——	——

DIP スイッチ	機 能
❶ IMP. (IMPEDANCE) 75 Ω /HIGH	通常は“**75 Ω**”側にセットします。 VIDEO IN コネクターにモニターなどの他の機器を分岐接続するときは、“**HIGH**”側にセットします。
❷ TRAP ON/OFF	通常は“**OFF**”側にセットします。 カラー信号を入力してご使用の際は“**ON**”側にセットします。 “**ON**”側にセットすると、トラップ回路がはたらきます。 “**OFF**”側にセットすると、トラップ回路は無効となります。
❸ MEMORY FIELD/FRAME	**FRAME**：通常は“**FRAME**”側にセットします。 **FIELD**　：動きの速い画面をプリントするときは“**FIELD**”側にセットします。 ■ 通常、モニター画像は 2 枚のフィールド画像が合成され、1 枚のフレーム画像が映しだされています。
❹ RESERVED ❺ RESERVED ❻ RESERVED	“**OFF**”側にセットします。 (このスイッチは使用しません。)

11 状態 / モード一覧表

本機の状態/モード	インジケーター表示		右側のインジケーター表示の内容	映像出力
	左	右		
電源OFF			電源 OFF	スルー画
待機状態	0	0	正常待機状態	スルー画
γカーブ設定	r	1 - 5	γカーブ No.	スルー画
コピー時のメモリー画選択	G	.0 - .9	メモリー内の画像の番号	フリーズ画
マルチ画像コピー時のメモリー画選択	o.	0. - 9.	メモリー内の画像の番号	フリーズ画
画像拡大時の水平方向のプリント領域設定	H	-		モニター画
画像拡大時の垂直方向のプリント領域設定	U	-		モニター画
プリント条件印字設定	_	0 , 1	印字しない / 印字する	スルー画
SCAN	S	U , 0	アンダースキャン / オーバースキャン	スルー画
IMAGE	I	P , N	ポジ / ネガ	スルー画
DIRECTION	d	n , r	ノーマル / リバース	スルー画
SAVING	ō	0 , 1	通常の紙送り / 紙節約	スルー画
PAPER	P	G , H , S	強光沢紙 / 高濃度紙 / 多階調紙	スルー画
PRINT ボタンの機能設定	A	0 , 1 , 2	通常プリント / 複数押し複数枚コピー / プリント中メモリー	スルー画
プリント枚数の設定	N	1 - 9 , C	プリント枚数 / 連続	スルー画
モード一覧表の印字	H	P	モード一覧表の印字	スルー画
ブライトネス調節		-19 - 19	輝度指数	モニター画
コントラスト調節		-19 - 19	コントラスト指数	モニター画
コピー状態	C	1 - 9	コピー残量数	スルー画
エラー検出状態	E	P b o L	紙なし ボタン入力エラー ドア開 ギアロックエラー	スルー画

12 クリーニングペーパーの使いかた

■ サーマルヘッドがゴミやほこり、手の脂、汗等で汚れるとプリントした画面上に雨だれ模様や白い縦線等の出る場合があります。このような場合には以下の手順で添付のクリーニングペーパーを使ってヘッドのクリーニングをしてください。

ご注意：●クリーニングペーパーの使用のめやすとしては感熱記録紙10巻に1回程度としてください。
●クリーニングペーパーを使用しても症状が改善されない場合は、修理が必要ですので販売店へお問い合わせください。
●このクリーニングペーパーは、サーマルヘッドのクリーニング用ですので、他の用途に使用しないでください。
●紙、またはクリーニングペーパーをドアを閉めたまま手で引き出さないでください。
故障の原因となります。

●付属品以外のクリーニングペーパーを使用しないで下さい。ヘッドに悪影響をおよぼすことがあります。

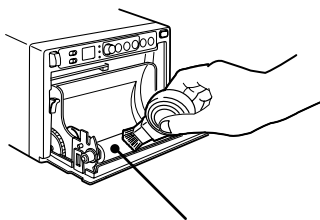
13 お手入れ

お手入れの際は電源を切ってください

本体のお手入れ

本機の前面パネル部分の汚れは柔かい布でふいてください。
汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

ゴムローラーのお手入れ

ゴムローラーにゴミやほこりが付着したままになった場合はプリントされない部分が出ることがあります。
この場合はゴムローラーに付着したゴミやほこりをブロアーブラシ等で取りのぞいてください。

ゴムローラー

サーマルヘッドのクリーニング

サーマルヘッドがゴミやほこり等で汚れますとプリントした画面上に雨だれ模様や白い縦線等の出る場合があります。
この場合には“**クリーニングペーパーの使いかた**”に従ってサーマルヘッドをクリーニングしてください。

14 仕様

種　　　類	ビデオコピープロセッサー
形　　　名	P93
電源定格	AC100V 50/60Hz　1.5A
接続端子	ビデオ入力端子（BNC 形接栓） ビデオ出力端子（BNC 形接栓） ワイヤードリモコン端子（ステレオミニジャック） AC 電源入力端子 3 P
解　像　度	水平 1280 ピクセル×垂直 500 ライン（アンダースキャン）（NTSC） 水平 1280 ピクセル×垂直 600 ライン（アンダースキャン）（PAL）
階　　　調	256 階調
プリント速度	3.3 秒（NTSC　アンダースキャン）
プリントサイズ	100 mm × 75 mm（標準）
使用環境条件	温度 5℃～ 40℃ 湿度 20%～ 80% RH（結露なし）
外形寸法	幅 15.4 cm ×高さ 8.95cm ×奥行 25.6cm
質　　　量	2.8 kg
付　属　品	BNC/BNC 形接続ケーブル………（2 m）1 本 AC 電源コード………1 本 感熱記録紙　K91HG-CE………1 巻 ワイヤードリモコン………1 個 クリーニングペーパー………1 枚
別　売　品	感熱記録紙　　K61S-CE、K65HM-CE、K91HG-CE

※仕様および外観は改良のため変更することがあります。

15 アフターサービス

この商品には保証書を別途添付しております。
保証書は販売店でお渡しいたしますから所定事項の記入および記載内容をご確認いただきたいせつに保存してください。
保証期間は次のとおりです。

本　　　　体	：お買上げの日から１年間
サーマルヘッド	：お買上げの日から６ヶ月間 （ただし、累積印画枚数２万枚以内）

保証書の記載内容によりお買上げ販売店が修理いたします。
その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客さまの要望により有料修理いたします。

なお保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店へお問合わせください。

本機を使用中に万一発生した故障等の不具合により、プリントされなかった内容の補償についてはご容赦願います。

この製品は日本国内用ですので、電源電圧の異なる海外では使用できません。またアフターサービスもできません。
This VIDEO COPY PROCESSOR is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

■ INTERNET INFORMATION ■ この製品に関する詳細情報、使用応用例などを、wwwサーバーでもご提供しています。

http://www.MitsubishiElectric.co.jp/vcp

技術的なお問い合わせは三菱電機VCPテクニカルセンターへ。

(フリーダイヤル)

0120-710-391

075-353-0666
(携帯電話、PHSでのお問い合わせの場合)
※通話料はお客様負担です。

受付時間/AM9:30～12:00・PM1:30～5:00
(土、日、祝日を除く)

FAX 075-353-0685 E-mail pep-m@mbox.kyoto-inet.or.jp

愛情点検 長年ご使用の三菱ビデオコピープロセッサーの点検をぜひ！

(熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により商品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。)

このような症状はありませんか	●電源コード、プラグが非常に熱い。 ●コゲくさい臭いがする。 ●製品に触れるとビリビリと電気を感じる。 ●電源スイッチを入れても、映像が出ない。 ●その他の異常・故障がある。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

ビデオコピープロセッサーの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切後8年です。

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

京都製作所　〒617-8550 京都府長岡京市馬場図所１番地

871C673B90

PRINTED IN MALAYSIA